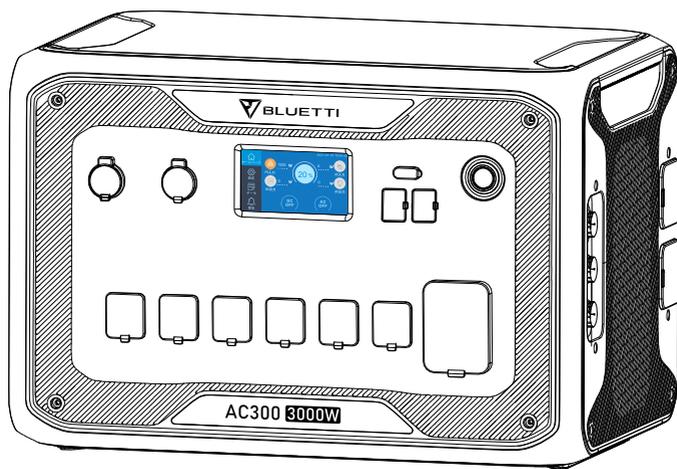




AC300 ポータブル電源

ご使用前に「安全に関する注意事項」をよくお読みの上、本製品を安全にお使いください。



取扱説明書

ご使用前に「安全に関する注意事項」をよくお読みの上、本製品を安全にお使いください。

目次

01. はじめに	01
02. 安全に関する注意事項	01
03. 梱包明細	03
04. BLUETTI アプリ	05
05. AC300 各部の説明	09
06. 電源オンと電源オフの操作	10
07. タッチスクリーンの操作方法	10
08. AC300+B300 充電について (入力)	17
09. 出力について (OUTPUT)	23
10. UPS	25
11. 仕様	30
12. 保管とメンテナンス	32
13. よくある故障と処置	32
14. FAQ (よくあるご質問) について	38
15. 免責事項	39

01. はじめに

1.1. AC300 の説明

● BLUETTI AC300 の 制御システムには、最新のデュアルコア コントローラー（ARM コントローラー + DSP コントローラー） を搭載しており、AC 充電器モジュール、MPPT モジュール、インバーター モジュール、DC/DC モジュール、バッテリーモジュールなどを 安定かつ安全に制御します。AC300 にはバッテリーパックが内蔵されておらず、最低 1 台の B300 拡張バッテリーを接続する必要があります。最大 4 台の B300 拡張バッテリーパックが接続可能です。

●ソーラー充電コントローラー、AC 充電コントローラー、インバーター、リチウム電池、およびバッテリー管理システム（BMS）を統合制御しており、環境に優しい自然エネルギーと電力会社から供給される電力を無駄なく効率よく蓄電し、お使いの電化製品に給電が可能です。

1.2. 略語の説明

- BMS: Battery Management System （バッテリー・マネジメント・システム）
- MPPT: Maximum Power Point Tracking （最大電力点追従機能）
- UPS: Uninterruptible Power Supply （無停電電源装置）
- AC: 交流 Alternating Current
- DC: 直流 Direct Current
- PV: ソーラーパネルによる充電
- T500: 500W の追加充電器
- DOD: Depth of Discharge （放電深度）
- ECO モード：省電力機能。AC 出力が 30W 以下の状態が 4 時間経過すると自動的に AC 出力がオフになります

02. 安全に関する注意事項

ご使用前に必ずお読みください。

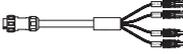
- 本装置を BLUETTI サブ分電盤（別売り）経由で施設や家庭の分電盤に接続する場合は、電気工事士の資格が必要です。
- 本装置を熱源の近くに置かないでください。本製品本装置を可燃性、爆発性のガスや煙のある環境に設置することはできません。また、そのような環境での使用も禁止されています。
- 本装置の内蔵バッテリーや部品の交換は危険ですので絶対におやめください。また、

内蔵バッテリーや部品の交換は、必ず BLUETTI 認定の技術者でなければなりません。その他の者による分解、もしくは分解したと思われる形跡などにより発生した損傷及び不具合には保証対象外（免責）となり、有償での修理対応、または修理対応自体を不可とさせていただきます。

- 本装置が濡れている状態での使用を禁じます。本製品本装置を濡れたままの状態で使用すると使用者の感電や火災を引き起こす危険性もあり大変に危険な上、本製品本装置の致命的な故障に繋がります。
- 本装置の使用時は、通気孔を塞がないでください。換気不十分によって、本製品本装置に致命的な損傷を与える可能性があります。
- 収納時や使用時には、本装置の上に物を積み重ねないでください。また、使用時に振動や衝撃を与えることにより本製品本装置内部のハードウェアの接触や接続箇所へダメージを与えることがあります。また本製品本装置を使用中に動かすことを禁止します。
- 警告：本装置のすべてのポート（AC、DC、通気孔）に異物を入れないでください。品本装置は電気を蓄える機械ですので、家庭内のコンセントや電化製品と同様に感電の危険性があります。そのため、お子様やペットが不用意に触れる場所への設置及び保管はしないでください。
- 万が一の場合、必ず粉末消火器など青マークの消火器を使用してください。
- 安全のため、本装置専用の充電器やケーブルをご使用ください。

03. 梱包明細

同梱付属品

No.	項目	数量
1	 AC300 本体	1
2	 AC 充電ケーブル (AC300 と B300 充電接続ケーブル /15A)	1
3	 多機能 DC 充電ケーブル ソーラーパネル、鉛蓄電池充電に適用	1
4	 カーチャージケーブル No3. のケーブルと一緒に AC300+B300 に接続	1
5	 取扱説明書 ご使用前に必ず本書をお読みください。必要な時に参照できるように大切に保管してください。	1
6	 保証カード	1
7	 QC 合格証明カード	1

オプション品
BLUETTI 公式ショップでご購入可能です。

No.	項目	
8	 30A 充電ケーブル L14-30 急速充電用	
9	 鉛蓄電池充電ケーブル 鉛蓄電池で AC300+B300 に充電用	
10	 PV 電圧制御ボックス (D300S) 分電盤と接続	
11	 12V/30A から XT60 への変換ケーブル	30A DC (出力用)
12	 XT60 から SPC45 への変換ケーブル DC で RV に充電用	
13	 100W USB-C から USB-C への変換ケーブル USB-C ポートで充電用	

04. BLUETTI アプリ

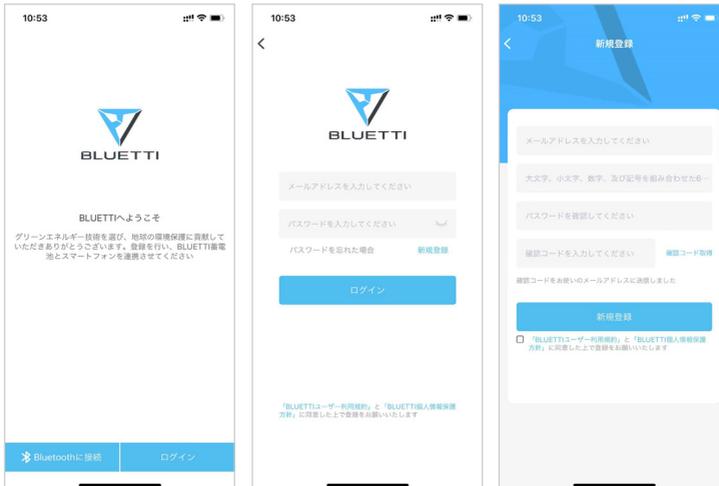
AC300 + B300 を BLUETTI アプリに接続する前に、Bluetooth と Wi-Fi を「オン」にしてください（AC300 のタッチスクリーンで設定します）。



(ホームページ - 設定 - 次へ - 次へ - 次へ)

ステップ 1:

● App Store (IOS デバイスの場合) または GooglePlay (Android デバイスの場合) で「BLUETTI」を検索してから、BLUETTI アプリをダウンロードします。Bluetooth または Wi-Fi で AC300 + B300 システム AC300 + B300 と接続します。「ログイン」をタップして BLUETTI アカウントを登録してから、関連情報を入力してください。



- BLUETTI アプリで登録したメールアカウントで BLUETTI サーバーから送信された確認コードを受け取ってください。メール内にある水色の 6 桁の確認コードをアプリの登録画面に入力してから、「新規登録」をタップしてください。



ステップ 2 :

- AC300 + B300 と接続します。AC300 の QR コードをスキャンして、利用可能なデバイスリストに AC300 を追加し、2.4GWi-Fi ネットワークのパスワードを入力して、データ同期用の AC300 の通信機能をアクティブにします。



- Bluetooth 接続の場合は、ホームページの [接続] をタップして、Bluetooth で AC300 + B300 をスマートフォンに接続し、デバイスの SN. 番号を選択します。デ

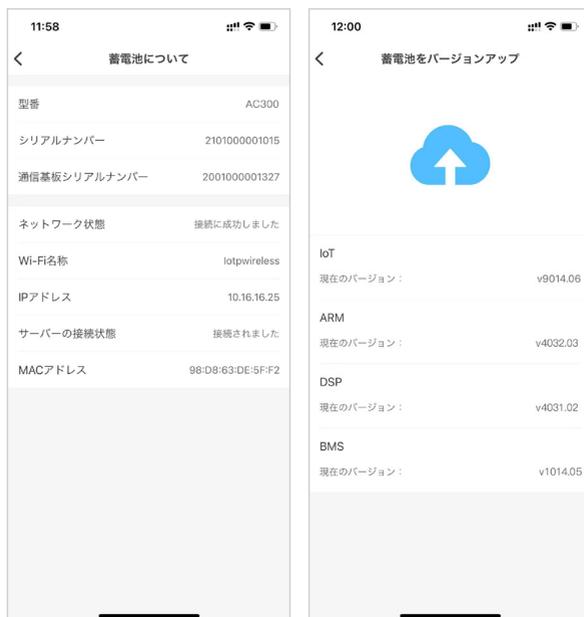
バイスのSN. 番号は、AC300の[設定]-「製品情報」から確認してください。



● AC300がアプリに接続された後、基本的な情報を表示できます。[設定]のアイコンをタップして、[設定]でAC300現在の動作モードとパラメータを設定することができます。



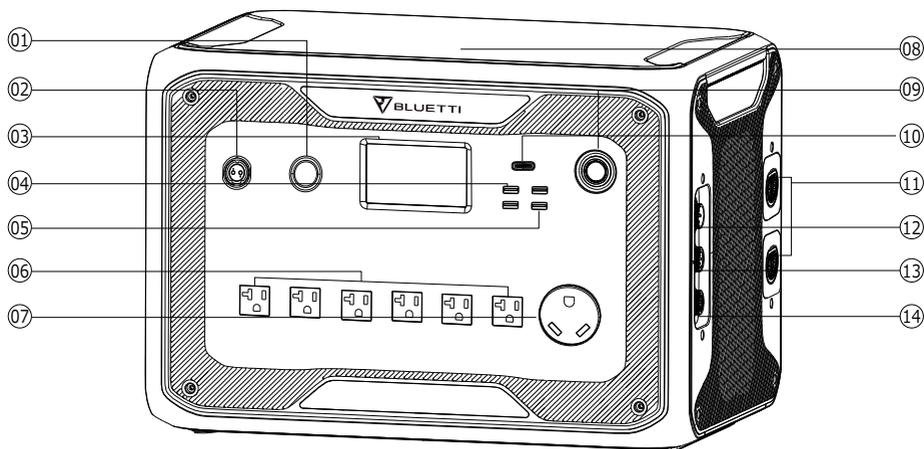
● BLUETTI アプリは、「ファームウェアアップデート」機能をサポートしていますので、適宜に最新のソフトウェアをアップデートすることができます。



注意：

- ・ファームウェアをアップデート時、スマートフォンを AC300+B300 の近く (5メートル以内) に置く必要があります。
- ・BLUETTI アプリで AC300 の電源をオン / オフすることができません。
- ・BLUETTI アプリをネットワークに接続できない場合、「ワイヤレスデータにデータの使用を許可」を有効にすることを確認してください。
- ・IOS の場合、スマートフォンの「設定」から BLUETTI アプリをタップします、
- ・Android の場合、スマートフォンの「設定」→「アプリ管理」BLUETTI アプリをタップします。

05. AC300 各部の説明



01 24V/10A シガーソケット出力ポート

08 ワイヤレス充電出力ポート

02 12V/30A 出力ポート

09 電源ボタン

03 LCD タッチスクリーン

10 USB-C 出力ポート (PD3.0 対応)

04 USB-A 急速充電出力ポート

11 拡張バッテリー延長ポート

05 USB-A 出力ポート

12 AC アダプター入力ポート

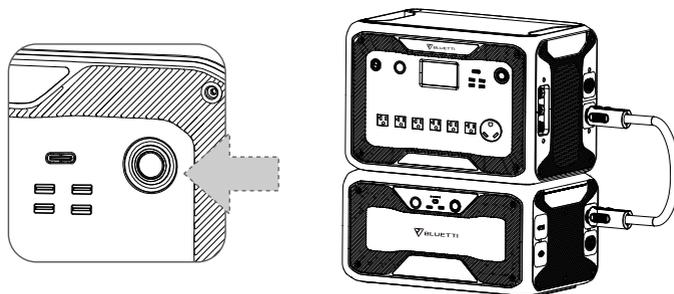
06 AC 出力ポート (20A MAX)

13 DC1/DC2 入力ポート

07 AC 出力ポート (30A MAX)

14 通信ポート

06. 電源オンと電源オフの操作



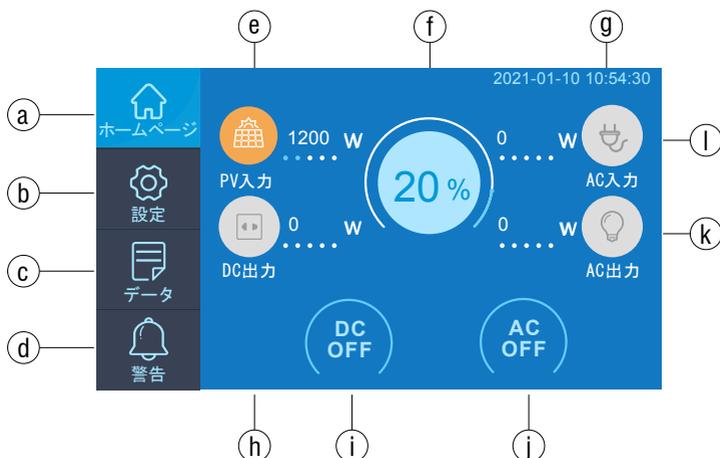
- AC300 と B300 の取扱説明書に従って、AC300 と B300 を接続します。
- AC300 電源オン：電源ボタンを 1 秒間長く押します。稼働指示ライトが点灯します。
- AC300 電源オフ：電源ボタンを長く押します。稼働指示ライトが消え、電源がオフになります。
- DC ポートと AC ポートの起動は LCD タッチスクリーンで操作可能です。「DC オン/オフ」ボタンと「AC オン/オフ」ボタンを押すと、DC /AC 出力がオン / オフになります。
- AC/PV で充電の場合、AC300+B300 は自動的オンになります。
- B300 の電源オン / オフで AC300 の電源オン / オフ操作も可能です。
- AC300+B300 は下記の状態が 4 時間以上続く場合、自動的に電源 OFF になります。
 - a: 入力と出力無し
 - b: AC と DC ボタンはオフ

07. タッチスクリーンの操作方法

7.1. ホームページ

ご注意：

- タッチスクリーン抵抗膜方式を採用しています。画面を指先で軽くタッチすると「ピー」と音がして、操作を確認できます。
(注：タッチスクリーンサウンドは [設定] メニューで無効に設定できます)。
- スクリーンの寿命を縮める恐れがあるので、スクリーンに直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。



- | | |
|------------------|------------------|
| a. ホームページ | g. 日付 / 時刻 |
| b. 設定 | h. DC 出力情報 |
| c. データ | i. DC オン / オフボタン |
| d. 異常 | j. AC オン / オフボタン |
| e. PV/ 車入力ボタン | k. AC 出力情報 |
| f. BMS メンテナンスボタン | l. AC 入力情報 |

7.2. 設定

- AC300+B300 の設定画面で、言語、電圧、周波数、電流 (UPS モード)、動作モード、日付 / 時刻などを設定することができます。
- ホームページの「設定」ボタンをタップすると、設定画面が表示されます。

7.2.1. AC 出力電圧・周波数

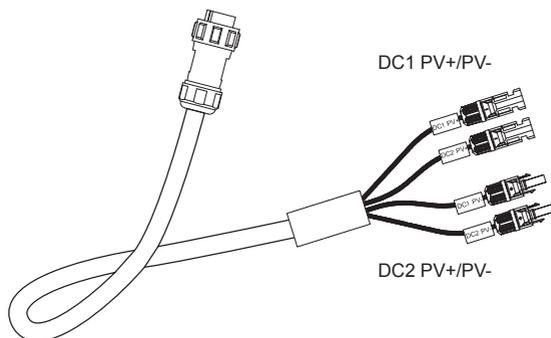
ご注意：

- 本製品を初めてご使用する前に、出力電圧、出力周波数などのパラメータを確認してください。出力電圧と出力周波数を変更するには、まず AC 出力をオフにする必要があります。(AC 出力がオンである場合、ホームページで AC をオフにしてから、設定を行ってください。AC 出力がオン状態の場合、オフにできません)

7.2.2. DC 入力

DC 入力：AC300 の DC 入力を DC1 と DC2 に分けて並列でデュアル MPPT 充電することが可能です。DC1 は一つの DC 充電グループです。MC4 ケーブルのラベルに「DC1

PV+」と「DC1 PV-」の表示があります。DC2 はもう一つの DC 充電グループです。MC4 ケーブルのラベルに「DC2 PV+」と「DC2 PV-」の表示があります。DC1 / DC2 は MC4 ケーブルの正極と負極で構成されています。タッチスクリーンでDC1とDC2の入力元をそれぞれ設定ができます：(「メインページ」- 「設定」 - 「DC1 / DC2」)。



(ケーブル No.3)



7.2.3 言語設定と ECO モード

●設定画面にある「English」または「日本語」を押して AC300 のシステム言語表示を設定します。

● ECO モードとは、AC 出力が 30W 以下の状態が、4 時間以上続く場合、自動的に AC 出力をオフにする機能です。



7.2.4. 動作モード

AC300+B300 は、UPS モードとして設定されます。設定で選択できる動作モードは全部で 4 つあります。

標準 UPS モード：デフォルトの動作モード。

時間優先モード：電気料金が時間帯によって変動する地域に適しております。

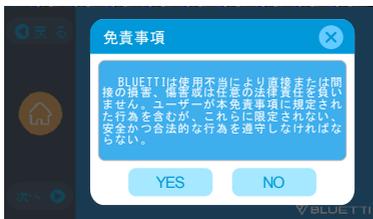
PV 優先モード：電力供給が安定している地域での使用を推奨します。

カスタマイズモード：パラメーターをカスタマイズすることで、より快適にご利用いただけます。

詳細な UPS の設定については、「10. UPS」をご確認ください。

7.2.5. 最大 AC 入力電流

● 最大 AC 入力電流を設置は家庭の分電盤に接続することが必要ですので、工事会社までにご相談ください。



7.2.6. 日付と時刻・タッチ操作音・タッチスクリーンの明るさ

- 「設定」 - 「日付設定」の右側にある日付をタップして変更します。
- 「設定」 - 「時間設定」の右側にある時間をタップして変更します。
- 「設定」 - 「操作音設定」で、タッチ操作音の ON/OFF を切り替えます。
- 「設定」 - 「明るさ」の右にあるスライダを左右にドラッグして、タッチスクリーンの明るさを調節します。



7.2.7. Bluetooth・Wi-Fi との接続

BluetoothまたはWi-Fi との接続は、どちらかのオン / フォックボタンをタップして、オン / オフになります。



7.2.8. リセット

このメニューより一部のパラメータを出荷時のデフォルト値に復元します。



7.3. データ

B300 のデータメニューで、それぞれのボタンを選択することで、「製品情報」、「インバータ&充放電情報」、「電池情報」、「警告履歴情報」を確認することができます。



7.3.1. 製品情報

- 「製品情報」ボタンを選択すると、製品型番、製造番号（シリアルナンバー /SN）、DSP ソフトバージョン番号、ARM ソフトバージョン番号、BMS ソフトバージョン番号、HMI ソフトバージョン番号が表示されます。
- 製造番号（シリアルナンバー /SN）は、アプリと携帯を手動でペアリングする際に使用します。



7.3.2. インバータと充電情報

「インバータと充電情報」ボタンをタップすると、PV/車充電、AC充電、DC出力とAC出力の情報を順次確認できます。又はホームページのショートカットで直接アクセスすることもできます。

インバーター & 充電器情報



7.3.3. 製品情報

「製品情報」ボタンをタッチすると、B300 の情報を確認できます。又はホームページのショートカットで直接アクセスすることもできます。



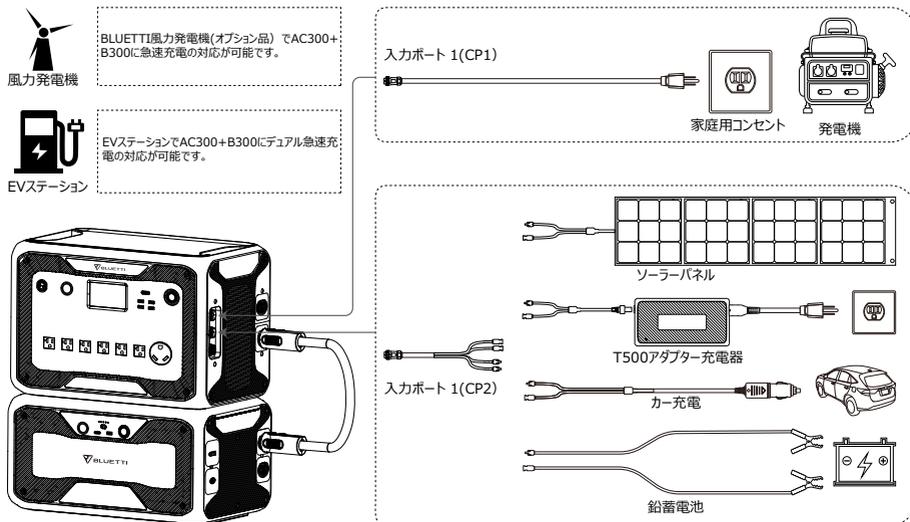
7.3.4. 故障履歴情報

「故障履歴情報」ボタンをタップすると、本体に発生したすべての故障情報を見ることができます。すべてのエラーコードがここに記録されています。エラーコードによって、「【14】よくある故障と処置」を参考しながら、解決策を確認できます。



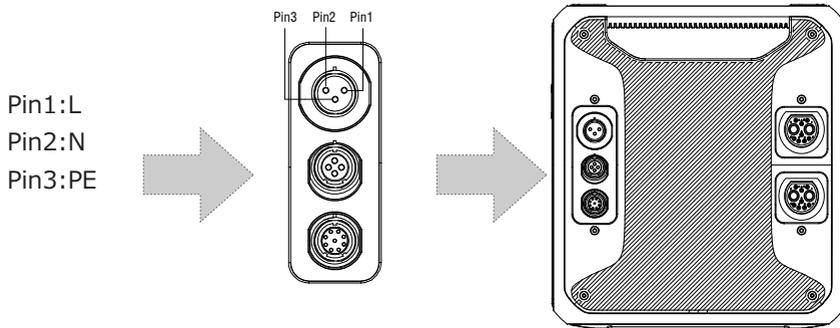
08. AC300+B300 充電について (入力)

- AC300 は 2 つの充電ポートがあり、組み合わせで多種類の充電方法があります。ここでは、どのポートを使用するかによって、3 つの部分に分けて説明します。
- 下記の図で示すように 2 つの充電ポートがあります。入力ポート「CP1」は AC 充電に対応します。「CP2」は DC 充電に対応します。



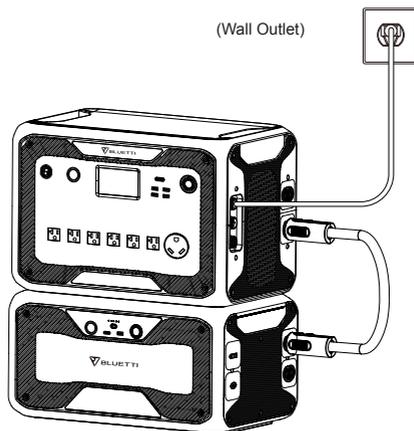
- AC300+B300 は家庭用コンセント AC、ガソリン発電機、オプションのアダプター充電器、カー充電、鉛蓄電池、EVステーション、風力発電機で充電できます。また入力ポート [CP1] と [CP2] を使ってデュアル急速充電で実現できます。

8.1. CP1 (「入力ポート 1」利用)



8.1.1. 充電方法 1: コンセントから (AC 充電用ケーブルによる)

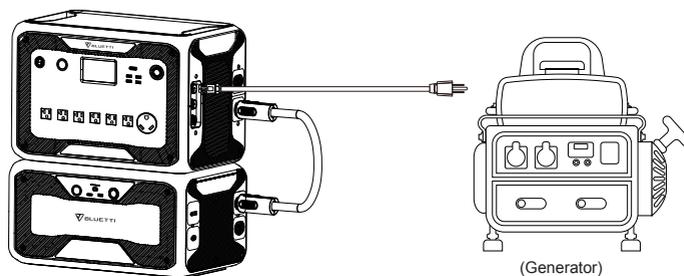
AC 充電ケーブルで AC300+B300 を CP1 と接続します (@1500W/100Vac ; @1800W/120Vac Max)。100%の容量に達すると充電プロセスは自動的に停止します。



Charging via wall outlet

8.1.2. 充電方法 2 : 発電機から (ガソリン、プロパン、またはディーゼル)

● AC300 を CP1 から発電機充電ケーブル (別売) を介して発電機の AC 出力に接続します。充電プロセスは、100%に達すると自動的に停止します。



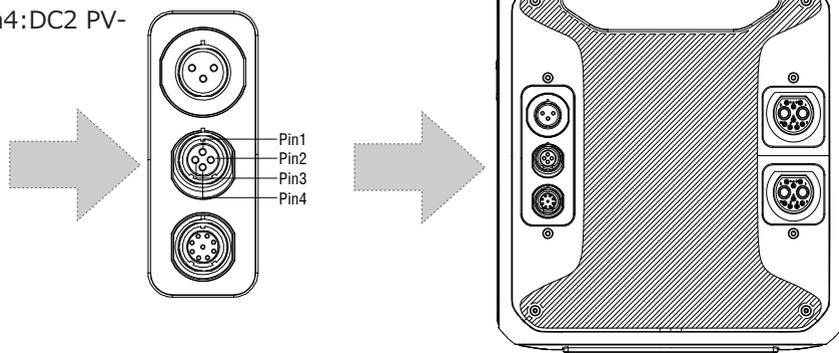
8.2. CP2 (「入力ポート 2」) 利用

Pin1:DC1 PV+

Pin2:DC2 PV+

Pin3:DC1 PV-

Pin4:DC2 PV-

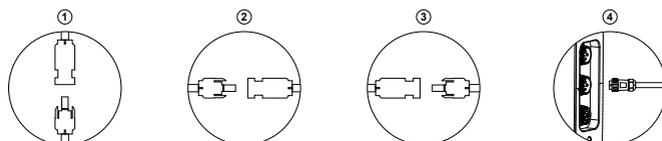
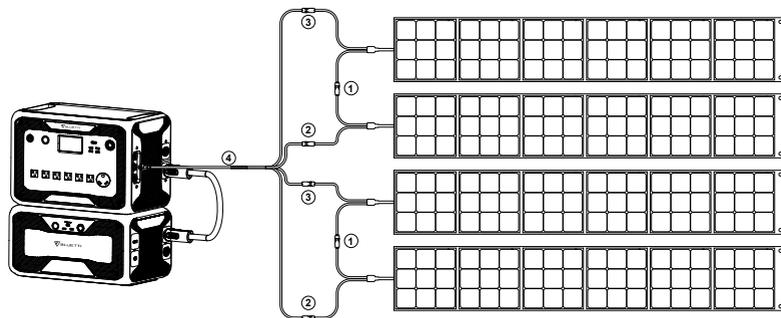


8.2.1. 充電方法 3 : ソーラーパネル (4 ピンの MC4 ケーブルを使用)

●ソーラーパネルの場合 :

AC300+B300 はデュアルソーラー充電に対応できます。それぞれの最大入力電流は 12A、充電電圧は 12 ~ 150V である必要があります。本製品は最大 2400W のソーラー充電が可能です。

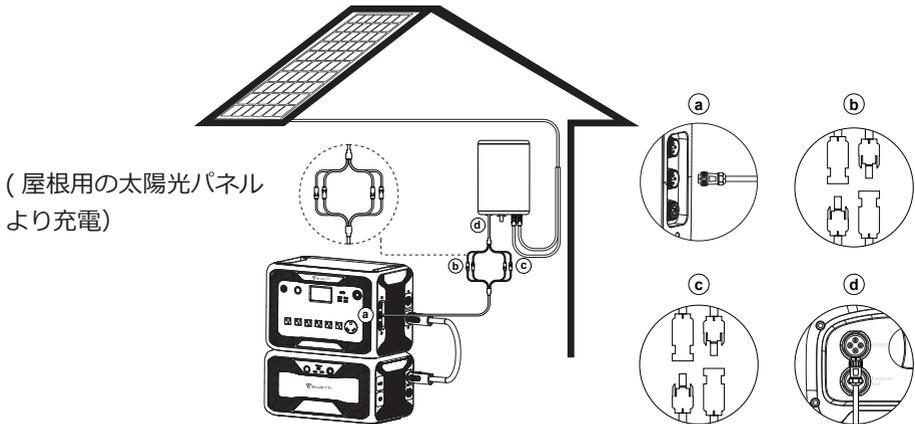
- 数枚のソーラーパネルを直列に接続します (図 1)。
- ソーラーパネルの MC4 ポートに、MC4 ケーブルで接続します (図 2、3)。
- PV 充電用ケーブルを AC300 の CP2 の入力ポートに接続します。



(簡単に接続可能)

● AC300+B300 を屋根用の太陽光パネルに接続する場合：

一般的に、太陽光パネルと MC4 ケーブルを接続するだけで、本製品の設置が完了しますが、太陽光パネルの開放電圧が本製品の対応範囲外の場合、PV 電圧制御ボックス（別売り）を経由することが必要です。（12-150Vdc, 12A*2）
 ご注意：詳細は工事会社までにご相談ください。



a. DC 出力ケーブルで AC300 と接続

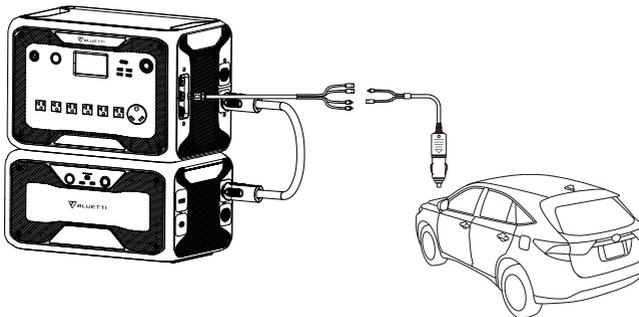
c. DC2 ポートと PV2 ポート接続

b. DC1 ポートと PV1 ポート接続

d. DC 出力ケーブルで D300S と接続

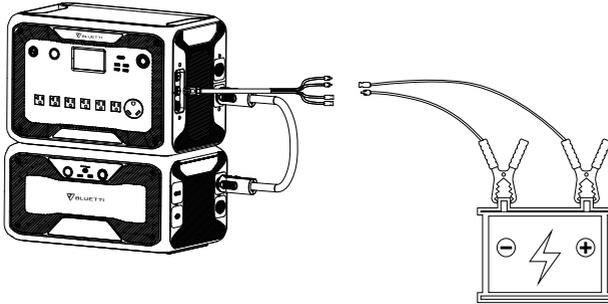
8.2.2. 充電方法 4: カー充電

- 付属のカーチャージケーブルを使って、カー充電入力ポートに差し込んでください。
- ホームページの「設定」画面(図2)に入り、「DC1/2」を「その他」に変更します。本製品は最大充電電流が 8.2A まで可能です。「Car」は無かったです!“その他”でした



8.2.3. 充電方法 5: 鉛蓄電池より

- 付属のソーラー充電ケーブルで鉛蓄電池の正極と負極ポートと繋がります。(電池の正極と負極の区別にご注意ください。赤の端は正極、黒の端は負極です。)
- ホームページの「設定」画面に入り、「DC1/2 入力 ソース」を「その他」に変更します。



8.3. デュアル充電



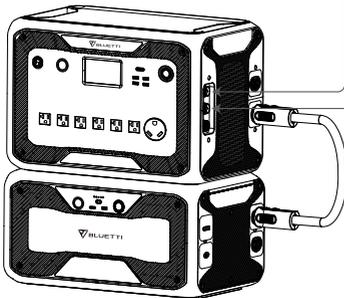
風力発電機

BLUETTI風力発電機(オプション品)でAC300+B300に急速充電の対応が可能です。

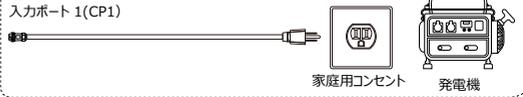


EVステーション

EVステーションでAC300+B300にデュアル急速充電の対応が可能です。



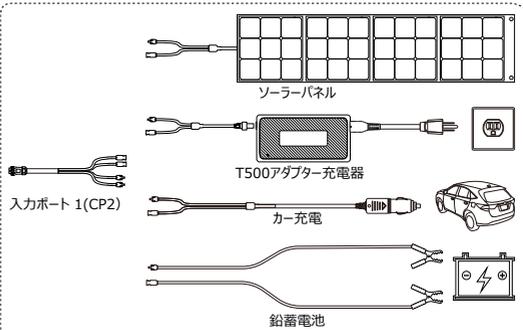
入力ポート 1(CP1)



家庭用コンセント

発電機

入力ポート 1(CP2)



ソーラーパネル

T500アダプター充電器

カー充電

鉛蓄電池

充電方法 6 : AC300+B300 を CP1 と CP2 で二つの充電方法を同時に行えます。上記の任意の充電方法で同時に充電できます。

充電電力入力を最大化するため、CP1 と CP2 のそれぞれの方法を選択してください。

CP1 に充電する方法 :

方法 1 : 発電機充電ケーブル (別売り) 経由

方法 2 : AC 充電用ケーブル経由

CP2 に充電する方法：**DC 入力 1:**

方法 3：ソーラーパネル（DC 入力 1、タッチスクリーンで「PV」を選択）

方法 4：T500 充電アダプター（DC 入力 1、タッチスクリーンで「その他」を選択）

方法 5：12V カーチャージャー / 蓄電池（DC 入力 1、タッチスクリーンで「その他」を選択）

方法 6：24V カーチャージャー / 蓄電池（DC 入力 1、タッチスクリーンで「その他」を選択）

**DC 入力 2:**

方法 7：ソーラーパネル（DC 入力 2、タッチスクリーンで「PV」を選択）

方法 8：T500 充電アダプター（DC 入力 2、タッチスクリーンで「その他」を選択）

方法 9：12V 車の充電器 / 蓄電池（DC 入力 2、タッチスクリーンで「その他」を選択）

方法 10：24V カーチャージャー / 蓄電池（DC 入力 2、タッチスクリーンで [その他] を選択）



方法 11：PV 並列で接続（タッチスクリーンで「PV 並列」を有効にする必要があります）



8.4. AC300 の充電時間の計算方法

例えば総充電電力が、AC と PV 並列で同時に 5400W (3000W +2400W) の場合、推定時間は 1.6 ~ 2.1 時間となります (AC300 と 2 つの B300 を並列で使用)。

09. 出力について (OUTPUT)

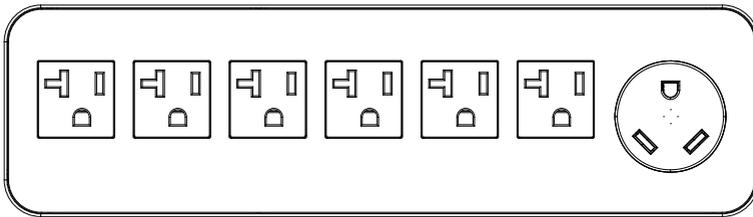
AC300+B300 の動作時間は、周囲の温度、放電率、電池の残量など、さまざまな要因によって変動します。

9.1. 出力ポートについて

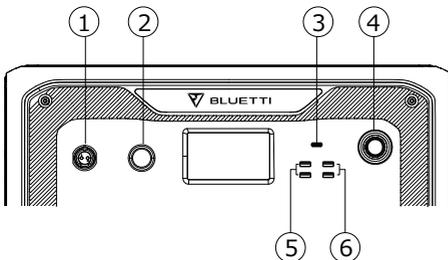
9.1.1. AC 出力ポート

- AC300 は、7つの AC 出力ポートを備えており、合計で連続 3000W の定格出力が可能です。
- ご使用中の機器の合計電力が 3000W を超えないようにしてください。

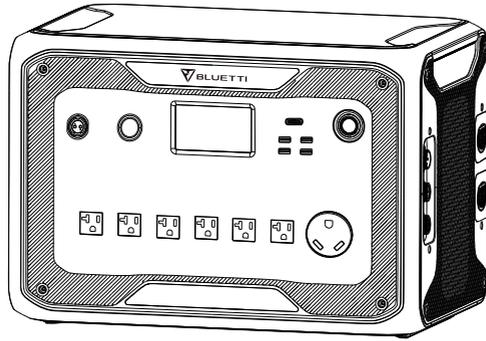
JP/US Version 7 * 100-120V/20A



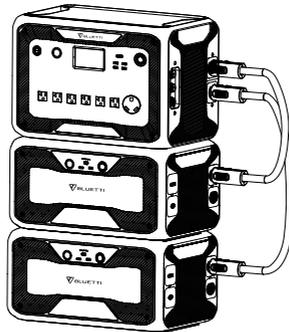
9.1.2. DC 出力ポート



1. *1 RV 出力ポート
2. *1 24V/10A シガーソケット出力ポート
3. *1 USB-C (PD 100W)
4. *1 電源ボタン
5. *2 USB-A (急速充電対応)
6. *2 USB-A



9.2. 推定動作時間



AC300 + B300*2 = 6144Wh

● キッチン家電



冷蔵庫
700W(24h)
2.8 Day



電気フライパン
1500W
3.3 Hrs



電子レンジ
1000W
5.0 Hrs



洗濯機
500W(1000W)
4.8-9.2 Hrs

● ホーム家電



スペースヒーター
1500W
3.2 Hrs



エアコン
8000Btu
2 Hrs



スマートフォン
18Wh
115 Times



ラップトップ
45Wh
71 Times



デスクトップ
300W
14.5 Hrs



CPAP
40W
77 Hrs

● 工具



ベンチグラインダ
- 1400W
3.5 Hrs



溶接機
1800W
2.8 Hrs



丸のこ
1400W(2300W)
2.1-3.5 Hrs

● 交通工具



電気自動車 (16A)
1800W
13.5-16 Miles



電動自動車
500W
9.2 Times

(ご注意：推定稼働時間は参考までです。)

9.3. 動作時間の算出方法

- $6144\text{Wh} (\text{AC300} + \text{B300} * 2 \text{ で接続の場合}) * \text{DOD} * \eta / (\text{負荷 } W) = \text{動作時間 (単位: 時間)}$ 。
- 放電深度 (DoD) とはバッテリーの寿命を延ばすために、本装置では 90% の DOD を設定していますが、これはバッテリー容量の 90% しか放電できないことを意味します。過放電によるバッテリーの損傷を防ぐために、エネルギーの 10% が確保されています。
 η はインバータの効率で $\eta = 90\%$ となります。

10. UPS

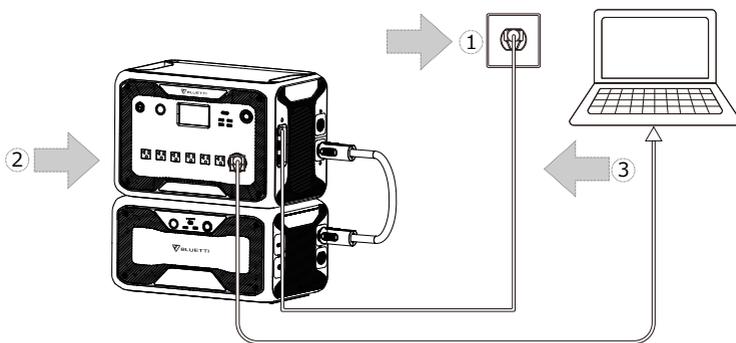
10.1. UPS の説明

UPS は、補助電源や非常用発電機とは異なり、入力電源の遮断からほぼ瞬時に保護することができます。UPS 機能を使うには本製品を充電状態に保つ必要があります。

10.1.1. ティップス

最大値容量保持を設定した場合は、電力会社のコンセントから供給される電力 (AC) で充電できる電力量を制限することができます。UPS を時間優先モードやカスタマイズモードに設定した場合、電池の最大容量を 80% に設置すると、AC300 はグリッドを介して 80% までに充電できます。残りの 20% の容量はソーラーパネルなど AC 以外の充電方法を介して充電されます。

10.1.2. UPS の簡単紹介



(Plug-in UPS system)

ステップ 1 : 同梱のアダプターで AC300 を AC 充電の状態にします。

ステップ 2 : UPS 機能に使う電気のプラグを AC300 の AC 出力ポートに挿します。

UPS モードは下記四種類があります。

- ①標準 UPS モード
- ②時間優先モード
- ③PV 優先モード
- ④カスタマイズモード

ご注意 :

UPS モードでの最大定格出力はご利用の電流と電圧に関係があります。

計算例 : 15A (電流) × 100V (電圧) = 1500W (最大定格出力)

10.1.3. UPS モードの選択

● タッチスクリーンで「ホームページ」－「設定」－「次へ」－「運転モード」の順番でタップして、4 つの UPS モードが現れます。そこで、ご利用したい UPS モードを選択します。

● デフォルトモードは「標準 UPS モード」です。



10.2. モードの詳細

10.2.1 標準 UPS モード

- 停電が発生してもしなくても、本装置は充電と同時に電力の供給を続けます。電力会社のコンセントから供給される電力（AC）の状況に関係なく、常にインバータを通して電力供給します。停電の影響を受けにくいというメリットがあります。
- オフラインモードでは、本装置は常にスタンバイの状態、停電が発生したときのみ電力を供給します。（停電切り替え時間は 20ms）電力会社のコンセントから供給される電力（AC）が正常な場合はそのまま電気機器に供給すると同時に内蔵バッテリーに充電を行います。停電を検知するとバッテリーの電力をインバータで AC に変換し電力供給します。



10.2.2. 時間優先モード

- 時間帯により電気料金に変化する地域に適しています電気料金が低い時間帯に充電を設定し、電気料金が低い時間帯は放電に設定し、経済的に電力を使用することができます。充電する時間と放電する時間を設定できます。

充電時間：AC300 + B300 を充電する時間をユーザーの使用環境に応じて設定が可能です。放電時間：AC・DC 出力する時間を使用環境に応じて設定が可能です。

● パラメータ設定：

最小値容量保持： AC300+B300 の残容量が設定したバッテリー最低残量の容量以下になると、AC300+B300 からの電力供給が停止します。

最大値容量保持： 電力会社のコンセントから供給される電力（AC）から充電される最大容量がバッテリー最大残量の数値になります。AC300+B300 は、ソーラーパネル、車、鉛蓄電、又はオプションのアダプター充電器のみから充電されます。



10.2.3. PV 優先モード

PV(太陽光発電) 優先モード :

PV 優先モードでは、バッテリー容量の一部を PV 充電用に割り当てることで、PV からの電力を優先的に充電できます。

バッテリー残量が設定値を超えると PV 充電専用、それ以下の場合、家庭用コンセントなどから充電できます。

● PV 優先モード：本装置への充電は主に太陽光発電で行い、節電を図ります。

※ご注意：PV 優先モードでは、AC300 は家庭用コンセント経由で 80% の容量までしか充電できず、容量の 80% までしか放電できません（画面またはアプリで手動で 100% に調整できます）。

● PV 優先モードでは、最低保持量として 80% の容量まで放電します。残りの容量は、太陽光発電と 2 つ目のアダプターのみでフル充電されます。最小保持量を 100% に設定することで、PV ランニング・モードでは最小保持量を 100% に設定すると、系統電力と太陽光発電の両方のどちらで本装置を常に 100% の容量で充電することができます。



10.2.4. カスタマイズモード

- カスタマイズモードでは、充電 / 放電時間、及びバッテリー容量の最大値と最小値を設定することが可能です。
- AC 充電状態を無効にすると、本製品はグリッドによる充電しかできなくなります。
- カスタマイズモードの有効・無効を設定することで、「PV 優先モード」や「標準 UPS モード」、「時間優先モード」の設定に影響があります。



11. 仕様

モデル	AC300-JP		
正味重量	21.6kg (47.62lbs)		
寸法	520*320*358mm (20.5*12.5*14.1in)		
充電温度	0-40℃ (32-104 ℉)		
放電温度	-20-40℃ (-4-104 ℉)		
保管温度	-20-40℃ (-4-104 ℉)		
使用環境湿度	10-90%		
認証	PSE, FCC, CE, UN38.3, msds, UL, SAA and ROHS		
容量	3072-12288Wh (60-240Ah)		
バッテリータイプ	LiFePO4		
標準バッテリー電圧	51.2VDC		
バッテリーセル電圧範囲	44.8-57.6VDC		
短絡保護	含む		
過熱保護	含む		
MPPT	内蔵		
過熱保護			
放電時の温度超過	65℃		
放電過温の回復	55℃		
充電の過熱	55℃		
充電の過熱回復	45℃		
AC 出力			
AC インバーター	*7 3000W total		*6 3000W total
定格出力電圧	100VAC	120VAC	220-240VAC
定格出力周波数	50/60Hz		
定格連続電力	3000W		
定格出力電流	30A	25A	13A

過負荷時の電力	3100W < load < 3750W, 2min; 3750W < load < 4500W, 5s; 4500W < load < 6000W, 500ms		
効率	>88%		
THD	<5%		
DC 出力			
シガーソケット	*1 24VDC,10A		
USB-A	*2 5VDC,3A,15W total		
USB-A(急速充電対応)	*2 3.6-12VDC,3A;18W*2 total		
USB-C (Type-C)	*1 5-15VDC,3A;20VDC,5A,100W		
ワイヤレス充電	*2 5/7.5/10/15W*2		
RV ポート	*1 12VDC,30A	418W>load, 2S	
AC 入力			
入力電圧	85-110VAC/JP	102-132VAC/US	207-253VAC EU/UK/AU
入力周波数	47Hz-63Hz		
最大入力電流	30A		
設定可能な入力電流	デフォルト値は 15A (変更可能)		
AC 充電電圧範囲	90-264VAC		
AC 充電の周波数範囲	47Hz-63Hz		
充電パワー	3000W Max		
PV 入力			
最大入力電圧	150VDC		
MPPT 電圧範囲	12-150VDC		
最大入力電力	1200W*2		
定格入力電流	12A*2		

12. 保管とメンテナンス

- 保管の際には、必ず本装置の電源を切り、50～70%の容量まで充電してください。
- 電池の寿命を延ばすために、最低でも半年に一度は放電と充電を行ってください。
- 使用時や保管時には適切な換気を行い、可燃性の物質やガスに近づけないでください。
- 保管・使用時には、本製品の上に物を載せないでください。
- 本機を雨や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所（32-113°F、0-45°C）に置かないでください。
- 本機は様々な場面で活躍する多目的ツールですが、本機を良好な状態に保つためには、時折簡単な清掃が必要です。
- お子様やペットが不用意に触れる場所への設置及び保管はしないでください。

13. よくある故障と処置

Error Code	エラー一覧	トラブルシューティング
001	D-AMCU エラー	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
002	D-BM エラー	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
003	D-A 通信エラー	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
004	バッテリー高電圧 - ハードウェア	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
005	BUS 高電圧 - ハードウェア	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
006	SPS 低電圧 - ハードウェア	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
007	ファンエラー - ハードウェア	ファンを清掃または交換して、適切な換気を行ってください。 再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
008	OCP（過電流保護） - ハードウェア	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。

009	LLC ソフトスタート失敗	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
010	BUS ソフトスタート失敗	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
011	H-BUS 高電圧	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
012	Bus 高電圧	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
013	LLC-Bus 高電圧	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
014	Bus 低電圧	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
015	DC 入力高電圧	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
016	DC 入力低電圧	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
017	DC 入力高電流	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
018	インバータ出力過負荷	負荷の出力電力が超過しています。再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
019	インバータ高電圧	負荷の出力が本機の仕様を満たしているか確認してください。再起動後に AC 出力をオンにしても、エラーが表示される場合は販売店にお問い合わせください。
020	インバータ低電圧	負荷の出力が本製品の仕様を満たしているか確認してください。再起動後に AC 出力をオンにしても、エラーが表示される場合は販売店にお問い合わせください。
021	グリッド入力過電流	負荷の入力が本製品の仕様を満たしているか確認してください。再起動後に AC 出力をオンにしても、エラーが表示される場合は販売店にお問い合わせください。

022	インバータ出力短絡	負荷が正しく接続されていることを確認するために、負荷機器の電源コードを本製品から一度抜いて、少し時間を置いてから再度本装置に接続してください。 「ホームページ」-「異常」-「削除」の順番でタップして、異常履歴を削除します。
023	インバータ過負荷保護	負荷機器の消費電力が本装置の出力範囲内に抑えてください。 「ホームページ」-「異常」-「削除」の順番でタップして、異常履歴を削除します。
024	フェーズ Integration エラー	分相フェーズフュージョンボックスの説明書を参考してください
025	AC リレー短絡	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
026	AC リレー開回路	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
027	ロードリレー短絡	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
028	ロードリレー開回路	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
049	PV1 過電流	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
050	PV2 過電流	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
051	PV1 過電圧	ソーラーパネルの最大電圧が AC300 の入力電圧仕様を満たしているか確認してください。
052	PV2 過電流	ソーラーパネルの最大電流が AC300 の入力電圧仕様を満たしているか確認してください。
053	D-BAT Full	バッテリーがいっぱいです。
054	D-BAT ドレイン	バッテリーの残留容量が空です。 SOC > 5%の場合、アラームはクリアされます。 タッチスクリーンで AC を再度オンにしてください。
055	インバータ過負荷エラー	負荷の出力電力がを超えています。
056	AC 過負荷エラー	負荷の出力電力がを超えています。

057	グリッド過電圧	グリッド電圧が AC300 の入力電圧の仕様を満たしているか確認してください。
058	グリッド低電圧	グリッド電圧が AC300 の入力電圧の仕様を満たしているか確認してください。
059	グリッド過大周波数	グリッド周波数が AC300 の入力周波数の仕様を満たしているか確認してください。
060	グリッド低周波数	グリッド周波数が AC300 の入力周波数の仕様を満たしているか確認してください。
061	マルチ通信エラー	通信ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 異常履歴を削除して、又は本体を再起動してください。
062	マルチアドレスエラー	通信ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 異常履歴を削除して、又は本体を再起動してください。
063	マルチ同期エラー	通信ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 異常履歴を削除して、又は本体を再起動してください。
064	マルチブラックフェーズエラー	AC 電圧の入力が本製品の仕様を満たしているか確認してください。 異常履歴を削除して、又は本体を再起動してください。
065	PV 並列エラー	PV 設定が PV 入力と一致しているか確認してください。 再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。PV パラレルが有効かどうかを確認してください。
081	BMS 通信エラー	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
082	LCD 通信エラー	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
083	EEPROM 読み取り & 書き込みエラー	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。

084	DSP 構成エラー	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
085	RTC 読み取り & 書き込みエラー	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
086	12V/30A Port OCP12V/30A ポート過電流	DC 12V / 30A ポートから負荷機器の電源コードを一度抜いてください。 異常履歴を削除して、又は本体を再起動してください。
087	24V/10A ポート過電流	DC 24V/10A ポートから負荷機器の電源コードを一度抜いてください。 異常履歴を削除して、又は本体を再起動してください。
088	USB/TYPE-C/PD ポート高電流	USB ポートから負荷機器の電源コードを一度抜いてください。 異常履歴を削除して、又は本体を再起動してください。
089	DC 12V/30A 出力高電流	DC 12V/30A ポートから負荷機器の電源コードを一度抜いてください。 異常履歴を削除して、又は本体を再起動してください。
090	DC 24V/10A 出力高電流	DC 24V/10A ポートから負荷機器の電源コードを一度抜いてください。 異常履歴を削除して、又は本体を再起動してください。
091	DC 出力ソフトスタート失敗	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
092	DC 12V/30A 出力短絡	DC ポートから負荷機器の電源コードを一度抜いてください。
093	DC 24V/10A 出力短絡	DC ポートから負荷機器の電源コードを一度抜いてください。
094	USB/TYPE-C/PD ポートロック	負荷の出力が本機の最大出力仕様を満たしているか確認してください。 再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。

095	12V/30A DC ポートロック	負荷の出力が本機の最大出力仕様を満たしているか確認してください。再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください
096	24V/10A DC ポートロック	負荷の出力が本機の最大出力仕様を満たしているか確認してください。 再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
097	BMS 温度エラー	AC300 は推奨温度で保管してください。内部の温度が正常に戻るまで放置してください。
098	BMS 過電圧	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
099	BMS 低電圧	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
100	BMS 過電流	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
101	BMS Precharge Error	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
102	BMS 出力短絡	再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
103	BMS 通信ケーブルエラー	バッテリー電源ケーブルが確実に接続されているか確認してください。 電源ケーブルのロックスイッチがオンになっていないか確認してください。 再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
107	温度異常	温度が正常に戻るまで放置してください。 再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。
108	ファン エラー	ファンを清掃または交換して、適切な換気を行ってください。 再起動してもエラーが発生する場合は、販売店にお問い合わせください。

14. FAQ（よくあるご質問）について

Q：保証書・延長保証の方法は？

A：製品をご注文された販売店に記載されている保証書がアフター要件になります。延長保証（購入された場合）は、デフォルトの保証が無効になった後に有効になります。

Q：アップデートは可能ですか？

A：ARM、DSP、IoT、BMS を含むファームウェアは BLUETTI APP によりオンラインでアップデートできます。

Q：充電と放電を同時に行うことはできますか？

A：はい、本機は AC 出力と DC 出力の両方でパススルー充電機能をサポートしていません。

Q：UPS のスイッチング遅延はありますか？

A：オンラインの場合、UPS の遅延はありません。オフラインの場合、20ms の遅延が生じます。

Q：2 セットの AC300 + B300 を FusionBox (P020A) に接続して、出力電力、電圧、容量を倍にしますか？

A：2 セットの AC300 + B300 に接続できるのは、Fusion Box Pro (P030A) のみです。

Q：他社製のソーラーパネルを使って充電できますか？

A：MC4 コネクタが付いていて、電圧（直列または並列）が 12V ~ 150V、最大入力電力が 2400W であれば使用できます。パネルの開放電圧が 550V 未満？これって未満ではなくオーバーでは？

の場合は、オプションの D300S を使って、電圧降下により、ソーラー充電を実現することができます。

Q：多数の電気製品で同時に充電することができますか？

A：多数の電気製品の連続負荷の合計を計算します。本機の定格出力電力を超えない限り、使用が可能です。

Q：製品をメインパネルに接続するにはどうすればよいですか？

A：グリッドタイ電源システムを取り付けるには、専門技術者の証明書を持った電気技師が必要です。重要な機器のワイヤーをメインの電気ボックスから BLUETTI サブパネルに接続し（オプション購入）、AC300 をサブパネルに接続します。

15. 免責事項

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますのであらかじめご了承ください。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・誤操作・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 非認証アクセサリーの使用による故障について当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任を負いません。
- 本製品本装置は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品本装置の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。上記の設備又は機器に本製品本装置を使用する場合、本製品本装置の故障に起因する人身事故、火災事故又は機械若しくは設備の誤動作については、一切責任を負いません。

